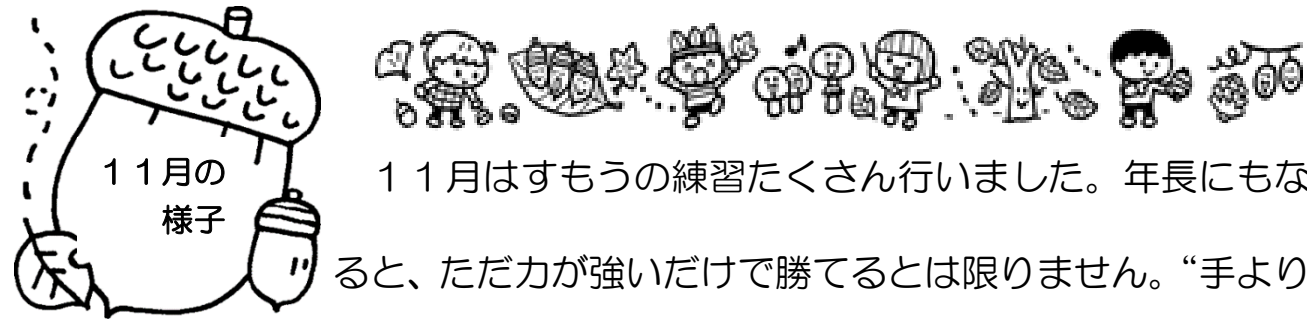




秋の気配がますます深まる季節です。子どもたちは様々な色に色づいた

落ち葉や生き物を見つけながら、秋らしさを感じています。園庭では寒さに負けず、たくさん身体を動かして遊んでいます。



11月はすもうの練習たくさん行いました。年長にもなると、ただ力が強いただけで勝てるとは限りません。“手より

胸を押した方が力が入る！”“土俵から足が出そうになったら身体を回転させてみよう！”“姿勢を低くした方が勝てるかもしれない！”など、ただ取り組みをするだけでなく、勝負を通して試行錯誤して工夫する姿が見られました。

そうすることで、最初はなかなか勝つことが出来なかった子も、少しずつ勝てるようになっていきました。また、ぱんだ組の頃は自分が勝てそうな子と取り組みをしたがるものがほとんどでしたが、今年は自分より強い子と取り組みをしたがる姿も見られました。自分より強かった子に勝ち、喜びを全力で表現したり、負けた悔しさから“次は絶対に勝つ！”という強い気持ちに繋がったりと、たくさんの成長を見ることが出来ました。また、本番で負けてしまった時の悔し涙からも、本気で練習を頑張ってきたということが伝わってきました。



クッキングで作ったスイートポテトをみんなで保育教諭に配り回っていました。

保育教諭「先生たちになんて言って渡す？」

Aくん「えーっと、いつもありがとう？」

Bちゃん「ありがとうって別になんにもしてもらってないやん！」

Aくん「あっそうか。じゃあなんて言う？」

Bちゃん「頑張って作ったから“美味しくできました”はどう？」

Cちゃん「あーそれいいやん！でも給食の先生と一緒に作ったから美味しく出来たん知っとるやん！なんか違うやつにせな！」

Dちゃん「じゃあ“教えてくれてありがとう”は？」

Cちゃん「そうやな！それにしよ！」

Bちゃん「みんなが教えてもらったんやからみんなで言おな！」

この会話は保育教諭が一切仲介せず、子どもたちだけで成立した会話です。ただ作ったスイートポテトを適当に渡すのではなく、“どのような言葉で伝えながら渡すのが正しいのか”“誰にどう伝えれば正しく伝わるのか”など、考えながら会話をしています。今回は、普段関わっている保育教諭と、スイートポテトの作り方を教えてくれた給食の調理員さんに伝えようとする趣旨が同じでも、伝え方を変えなければならないことに気が付く様子がありました。このようなやり取りから、子どもたちは普段の生活の中での会話を通し、状況を把握して大人と同じように考えながら会話をしているということが分かります。感謝を伝えようと考えながら会話をする子どもたちの姿は、とてもかわいらしく年長らしいやりとりでした。



- | | | |
|----------------|----------|---------------|
| 1日(金) | 茶道体験 | 平こども園で行います。 |
| | 仮面ライダー来園 | |
| 12日(火) | 体操教室 | |
| 15日(金) | 若狭ぐじ食育事業 | |
| 20日(水) | 身体測定 | |
| 22日(金) | クリスマス会 | 保護者の観覧はありません。 |
| 27日(水) | お誕生会 | |
| 28日(木) | おもちつき大会 | 詳細は後日お伝えします。 |
| 25日(月)~1月8日(月) | 1号冬休み | |
| 29日(金)~1月4日(木) | 2号・3号冬休み | |

おもちつき大会までにエプロン・三角巾・マスクを持ってきて下さい。